

農家派遣実習

講師名	本科1年担任	実務経験等	農業経営や農家生活の実際を体験的に学習するため、県内各地の優良農家に泊まり込み(14泊15日)で実習する。
-----	--------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
全学科共通・専門科目	全学科	必修	1	通年	180	4
使用教科書・副教材	必要に応じて資料を提示する。					
授業の目的・到達目標	県内の農業農村指導士等先進農家へ分宿し、正しい農業観、職業観を養うとともに、農業経営や農家生活の実際を体験的に学習する。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
7月17日	事前学習会	実習の目的を明確にするとともに、研修中の生活等における心構えについて理解する。	2	講義	
9月3日	直前全体説明会	実習中にやるべきことやスケジュール等の最終確認を行う。	2	講義	
9月15日 ～ 9月29日	農家派遣実習 (野菜・果樹・花き)	実習受入農家の営農計画に沿った農作業実習及び生活体験を行う。 実習受入農家の指示に従って行動するとともに、目的意識を持って作業し、今後の営農や卒業研究等課題解決の糸口を掴む。	172	実習	
9月17日 ～ 10月1日	農家派遣実習 (農産・酪農・肉畜)				
9月30日	事後指導 (野菜・果樹・花き)	実習報告書の作成	4	実習 及び 講義	実習報告書 及び実習日誌
10月2日	事後指導 (農産・酪農・肉畜)				
合計			180	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

実習受入農家からの評価と実習訪問時の様子、実習報告書及び実習日誌を総合的に判断して評価する。
 評価割合: 実習受入農家の評価40%、実習報告書、実習日誌及び訪問時の様子等60%

履修に当たっての留意点等

実習受入農家に宿泊しながらの実習になるので、体調管理には十分注意すること。
 事前に研修目的を立て、目的意識を強く持って臨むこと。
 実習中は実習日誌を毎日記載し、実習受入農家に毎日確認してもらうこと。